

島嶼国の商用施設への小規模太陽光発電システム導入

プロジェクト実施者: (日本側)パシフィックコンサルタンツ、InterAct

(パラオ側)Western Caroline Trading Company(サブプロジェクト1)、Surangel and Sons Company (サブプロジェクト2)

GHG排出削減プロジェクトの概要

- 太陽光発電(PV)システムを商用施設の屋根に設置する(合計370.5kW)。
- 高品質の太陽電池モジュール(セル表面の電極の幅と配置を最適化し、受光面積を向上させ、高い変換効率を達成)と、現地での使用実績が豊富で維持管理が容易な小規模システムに適した汎用インバータを使用。
- 発電した電力を自家消費するとともに、余剰電力はグリッドに供給する。
- 発電量と日射量を常時測定し、適切な発電がなされるよう維持管理。
- 現地では、近年大型台風の接近を経験しており、これに対処するため、耐風圧性の高いモジュールを導入。

サブプロジェクト1
(倉庫): 220.5kW

想定GHG削減量

259 tCO₂/年 (2020年までに1,594 tCO₂)

- サブプロジェクト1:
154 tCO₂/年 (2020年までに955 tCO₂)
- サブプロジェクト2:
105 tCO₂/年 (2020年までに639 tCO₂)

サブプロジェクト2
(スーパーマーケット): 150kW